

行政の窓

令和5年度 北海道の林業・木材産業関連施策について

令和4年3月に策定した北海道森林づくり基本計画（R4～R23）に基づき、森林資源の循環利用を進めるため、以下の施策に重点的に取り組みます。

➤ ゼロカーボン北海道の実現に向けた活力ある森林づくり

「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献するため、伐採後の着実な植林や間伐による活力ある森林づくりを進め、森林吸収量の確保を図ります。

○ 豊かな森づくり推進事業費補助金	779,520千円
森林所有者が計画的に実施する植林への支援	
○ クリーンラーチ苗木早期増産対策事業費	10,000千円
クリーンラーチの苗木用種子の早期増産を図るための採種園整備の促進	
○ クリーンラーチ幼苗安定確保対策事業費	12,520千円
クリーンラーチのさし木苗木の供給拡大を図るための新たな育苗技術の検証等	
○ 森林由来クレジット創出促進事業費	21,127千円
森林由来クレジットの創出に取り組む市町村等への支援や、道有林における天然林でのクレジットの創出	

➤ 広葉樹資源の育成・有効活用

広葉樹資源の価値を高めるため、将来を見据えた広葉樹資源の育成や有効活用を推進します。

○ ICTを活用した広葉樹資源の把握（森林資源デジタル管理推進対策費）	353,406千円
航空レーザ測量等を活用した資源把握、伐採可能量算定手法の開発	
○ HOKKAIDO WOOD推進事業費（道産広葉樹利用促進事業費）	33,204千円(うち1,047千円)
道産広葉樹製品の普及等	

➤ 道産トドマツ建築材の安定供給体制の強化

今後一般民有林からの出材増加が見込まれるトドマツ人工林材を最大限に有効活用するため、品質や性能の確かな建築材としての供給力を強化します。

○ 合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策等事業費	1,859,669千円
競争力強化に向けた加工流通施設整備等への支援	
○ 林業・木材産業構造改革事業	1,267,206千円
高性能林業機械や木材加工流通施設等の整備への支援	

➤ 森林づくりを担う「人材」の確保

全道で人工減少と高齢化が進む中、道内外から広く、森林づくりを担う人材を確保するため、豊かな森林に恵まれた本道の優位性の発信や、安全で安心な労働環境の整備など林業事業体の経営基盤の強化を図ります。

○ 北の森づくり専門学院管理費	155,237千円
北森カレッジの管理・運営の実施	
○ 森林整備担い手対策推進費	105,480千円
若年者の就業促進や安全衛生の確保、技術・技能の向上、就業環境の向上等への支援	

➤ スマート林業による効率的な施業の推進

労働人工の減少や木材生産量の増加などに対応するため、ICT等の先進技術を幅広く活用した「北海道らしいスマート林業」を推進し、効率的な施業の定着を図ります。

○ スマート林業実装推進事業費	71,160千円
ICT等を活用した施業効率化の実証や人材育成、ICT機器の導入支援、普及PR	
○ 低コスト再造林対策事業費	22,679千円
ドローンによる苗木運搬やコンテナ苗を活用した低密度植栽など、再造林への支援	

➤ HOKKAIDO WOODブランドの浸透などによる道産木材の需要拡大

道民の暮らしに道産木材製品が定着し、道産木材の需要拡大が図られるよう、『HOKKAIDO WOOD』を活用し、公共施設や住宅、民間施設等における道産木材の利用促進に取り組みます。

○ HOKKAIDO WOOD推進事業費	33,204千円
道産木材の利用拡大、HOKKAIDO WOODブランドによる需要創出等	
○ 道産建築材活用促進事業	44,500千円
モデル的な木造民間施設の整備への支援	

(水産林務部林務局林業木材課林業木材係)